

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 103-0024
 住 所 東京都中央区日本橋小舟町4番1号伊場仙ビル
 氏 名 日本乳化剤株式会社
 代表取締役社長 藤田 寿一 印
 (代理人) 川崎工場長 丸山 博秀
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本乳化剤株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区千鳥町1番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	界面活性剤並びに化成品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	8,987	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

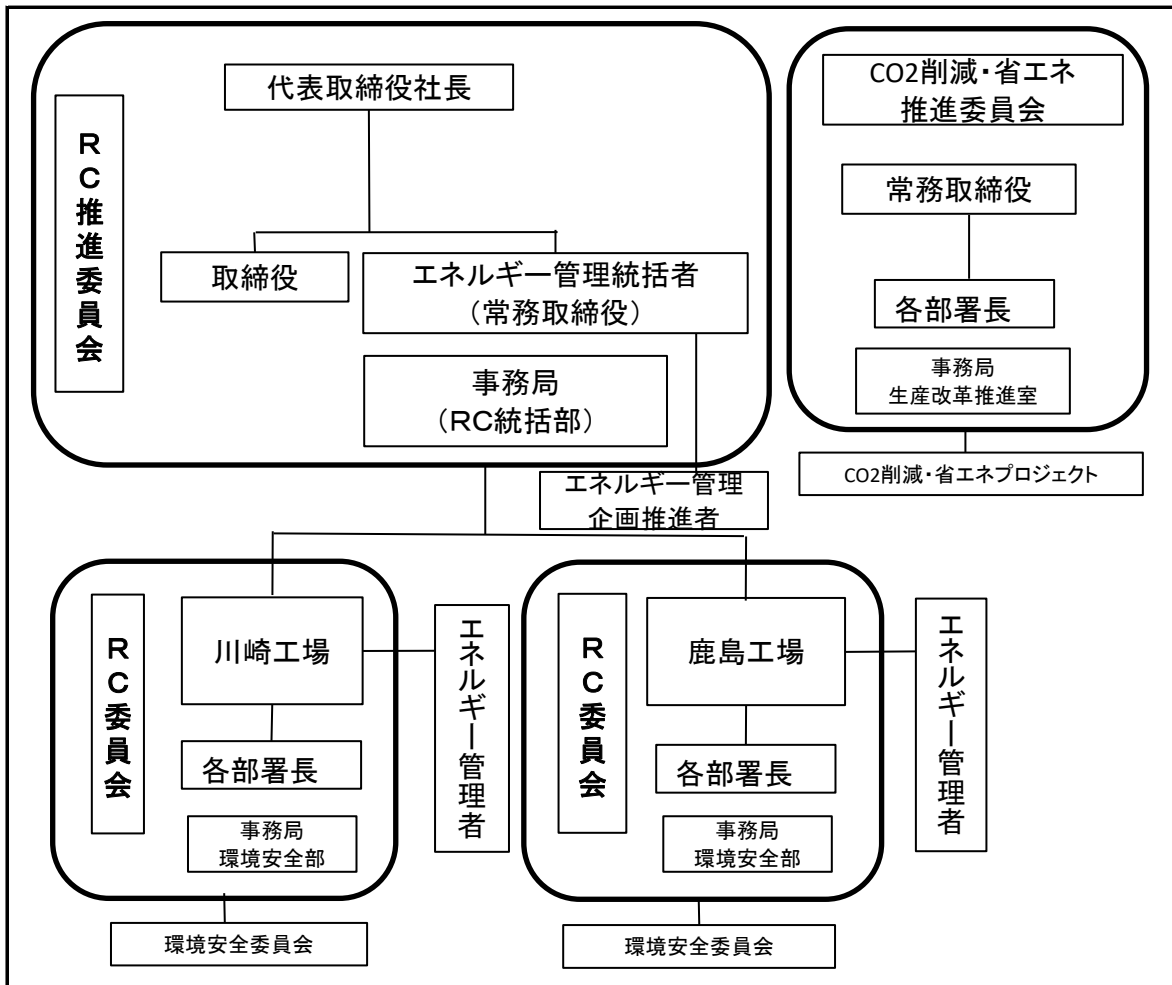
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

<p>事業者全体</p> <p>(1) 環境負荷の低減に関し、具体的な目的・目標を定めて、その達成に努める</p> <p>(2) 環境負荷のより少ない製品・技術・サービスの開発と社会への提供に努める</p> <p>川崎工場</p> <p>(1) 省エネルギー等のテーマを抽出し、改善活動を展開する</p>
--

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

<p>① 省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、年度計画を策定する。具体的な実施項目に関し「期初」「中間」「期末」に進捗確認する</p> <p>② 実施項目の進捗管理を実施し、計画通りに進まないような課題に関しては計画の見直しを行う</p> <p>③ 省エネ及び排出量削減効果の検証を行いその評価を行う。</p>
--

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 17,128 (調) 17,090 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 14,906 (調) t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量		(実) 2,222 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) 2,222 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 13.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		生産数量	
原単位の単位		t-CO ₂ /t	
基準年度の値		0.2828	
目標年度の値		0.2460	
削減率		13.0 %	%

ウ 目標設定に関する説明

<p>2030年度までにCO₂ 30%削減（2014年度比）を目標としており、2024年度までに21.3%削減（CO₂排出量 14,906 t-CO₂以下）を計画している。 原単位も温室効果ガス排出量削減率と同等の13.0%削減を目標とする。</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	(1) 外部コンサルタントを中心としたCO2削減プロジェクトの発足 (2) 焼却炉プロセス見直しによる運転負荷低減 (3) 工程改良によるエネルギー削減の推進
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

・平成21年度	250万熱媒ボイラーの燃料を灯油から都市ガスに 転換することにより、燃焼の合理化を行った。
・平成22年度	高圧変電器を高効率アモルファス変圧器へ1台更新 (7台中)
・平成23年度	高圧変電器を高効率アモルファス変圧器へ3台更新 (7台中)
・平成24年度	工場内の一部の水銀灯をLEDへ更新
・平成26年度	高圧変電器を高効率アモルファス変圧器へ3台更新 (7台全て更新完了)
・平成26年度及び平成27年度	事務厚生棟の一部の照明をLEDへ更新
・平成27年度	コージェネレーション設備設置
・平成28年度及び平成30年度	工場内の一部の照明をLEDへ更新
・令和元年度	ポンプのインバータ化を実施
・令和2年度	R&Dセンターの窓へ断熱フィルムを設置
・令和3年度	焼却炉施設に熱交換器を設置し排熱利用を推進

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	R&Dセンターに太陽光発電設置
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	○	ボイラー設備排熱利用検討
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	規模：10kW (7,544kWh/年) 導入場所：川崎工場R&Dセンター屋上	平成24年度
太陽光発電 (2019年度実績)	6,714kWh/年、設置年度比：89%	-

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	1. 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請及びモーダルシフトを継続して推進 (一部輸送を鉄道輸送及び船舶輸送に切り替え)
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	1. 廃棄物の減量化・分別化の推進 2. 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	17,128	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

8,987	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
日本乳化剤株式会社川崎工場	川崎市川崎区千鳥町1番1号	17,128 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂